

マンガで読める！

finance

わかりやすい 北九州財政

財政



日本で一番住みよいまちへ



はじめに

北九州市の持つポテンシャル（潜在能力）はまだまだ膨大に存在しており、それらを最大限活かしていくことにより、「稼ぐるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」を創っていくことを目指します。

その出発点となるのは、「稼ぐるまち」づくりです。すなわち、暫く停滞していた北九州市の経済の活性化を最優先の課題と明瞭に見定め、そこに資源と努力を集中させていくことです。そのためには、各分野でのポテンシャルを呼び醒ますことが必要です。そして、その果実を「彩りあるまち」「安らぐまち」に還元していきます。

この考え方は、令和5年度の予算の考え方と一貫したものであり、令和6年度予算のテーマは、「成長への再起動（第2弾）」予算と銘打ち、時代の変化や見えてきた近時の課題を踏まえつつ、資源投入を推し進めていきます。

具体的には、

- ① 空港の機能を最大限活かす
- ② 若者・子どもを応援する
- ③ 企業の付加価値向上を支援する
- ④ 街にぎわいと楽しさを生む
- ⑤ 街の老朽化等へ対応する

の5つを重点施策とします。

人や企業や投資を呼び込み、定着される街とするためには、人手不足、技術革新、災害の頻発、国際情勢の変化等の時勢を踏まえつつ、市民の皆さまのニーズや思いに応え、「一步先の価値観」を体現する街となるべく、「挑戦する市政」を志向し、実践に移していくことが肝要です。

長期的かつ明瞭なビジョンを市民の皆さまと共有しつつ、子や孫の世代に、この街・北九州市を堂々と引き継ぐことができるよう、着実かつ力強い歩みを進めてまいりましょう。

**Kitakyushu
Action!**

動かせ、未来。北九州市

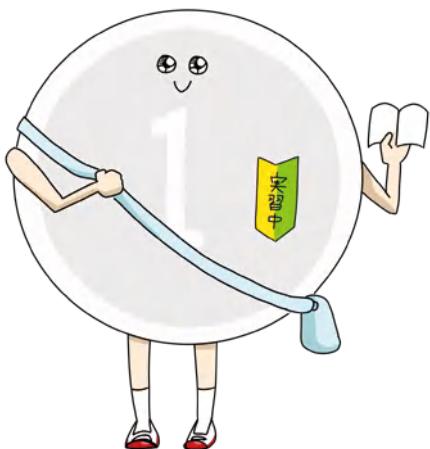


北九州市長 武内 和久

ーもくじー

| | |
|---------------------------|-------|
| 登場人物紹介・プロローグ | 1～2 |
| 市の現状 | 3～4 |
| 成長に向けての取組み | 5～10 |
| 令和6年度予算 | 11～18 |
| 重点戦略 | |
| 1. 空港の機能を最大限活かす | 13 |
| 2. 若者・子どもを応援する | 14 |
| 3. 企業の付加価値向上を支援する | 15 |
| 4. 街ににぎわいと楽しさを生む | 16 |
| 5. 街の老朽化等へ対応する | 17 |
| エピローグ | 19 |
| 参考資料 | |
| 一般会計歳入決算額の推移 | |
| 市民1人当たりの市税収入と歳入に占める割合 | 20 |
| 地方交付税等決算額の推移 | |
| 市民1人当たりの地方交付税等と歳入に占める割合 | 21 |
| 一般会計歳出決算額の推移 | |
| 福祉・医療関係経費決算額の推移 | 22 |
| 投資的経費決算額と市民1人当たりの投資的経費の推移 | |
| 市債残高の推移、市民1人当たり市債残高の推移 | 23 |
| 中期財政見通し | |
| 特別会計、企業会計決算 | 24～25 |
| 健全化判断比率等 | 26 |
| 財務諸表 | 27 |

登場人物紹介



ざい吉

- ・妖精見習い
- ・真面目、メモや教科書を持ち歩く
- ・ですます口調
- ・ざいせーくんを尊敬している



ざい つ まどか 財津 円

- ・北九州市に越してきたばかり
- ・活発、中学3年生、Z世代
- ・北九州市スタンダード制服のスラックスを愛用

漫画家プロフィール

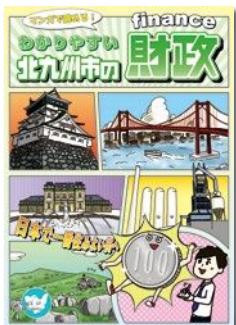
三崎てるひこ

北九州市出身・在住
COLT TOKIWA創所所属

2018年日中韓新人MANGA選手権 銀賞受賞
西鉄バス「月刊にしてつバスっちゃん! 北九州~ぶらりバスの旅・キタキュ~物語~」
漫画連載(現在休刊中)
ギャグ漫画、イラスト、似顔絵・臨床心理士もやってます



『マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政』 過去の作品も公開中！



令和3年度



令和4年度



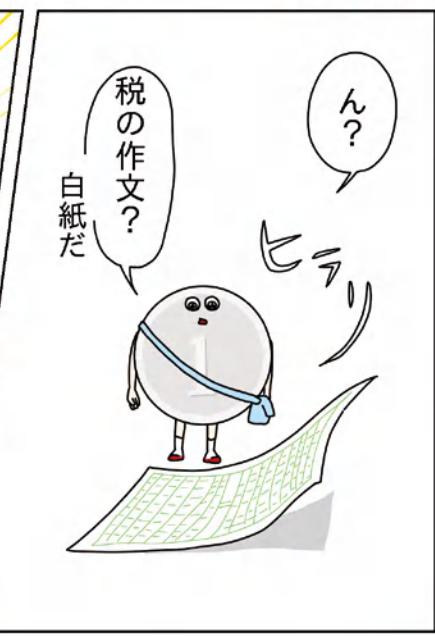
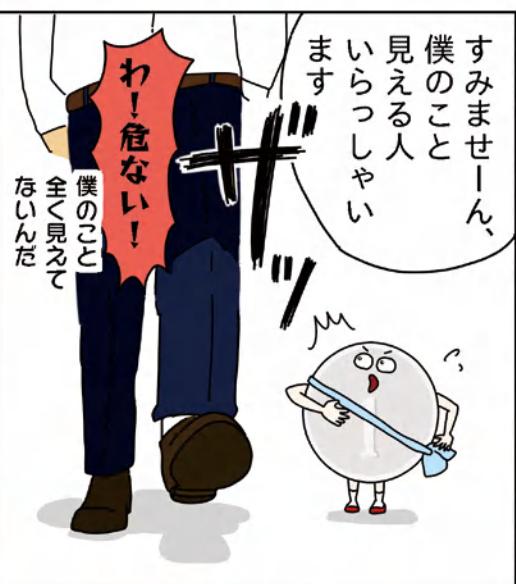
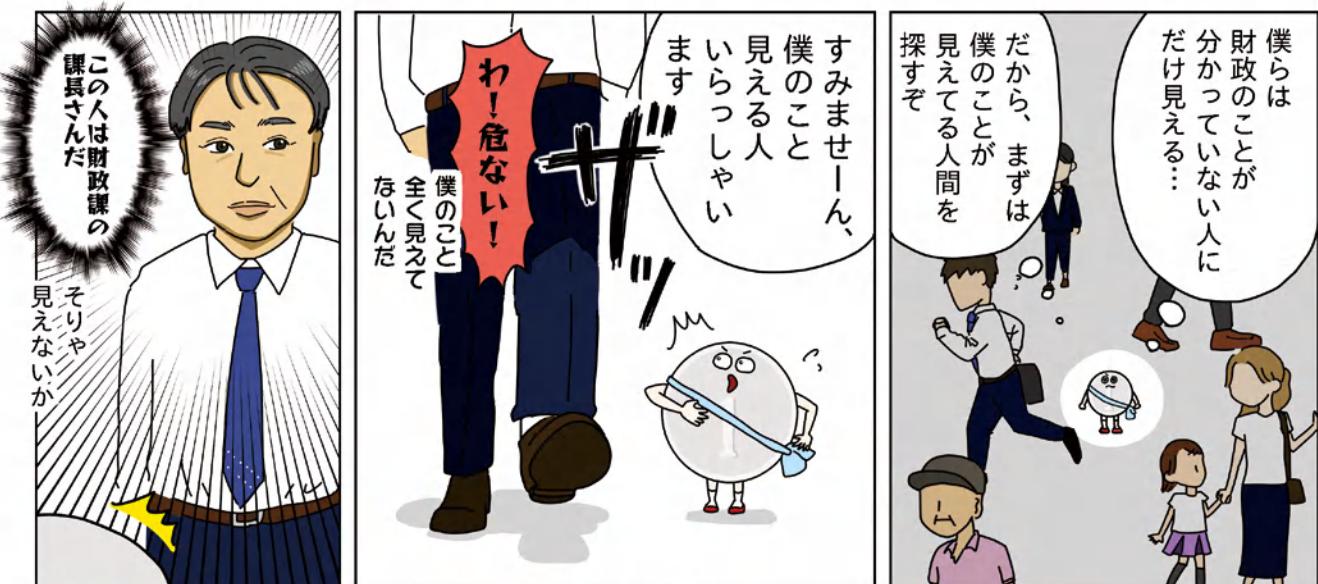
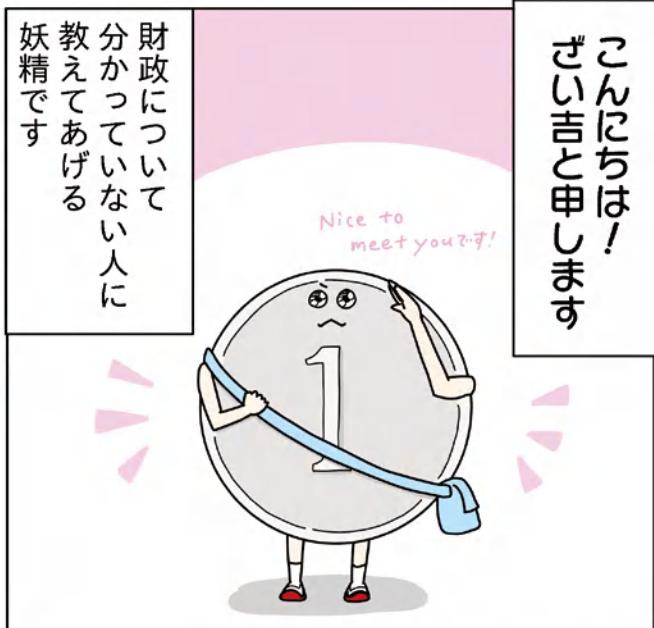
令和5年度

こちらで読めます！



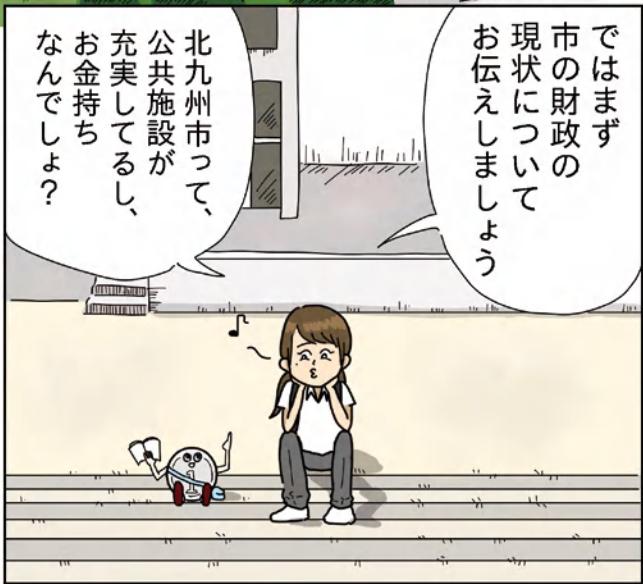
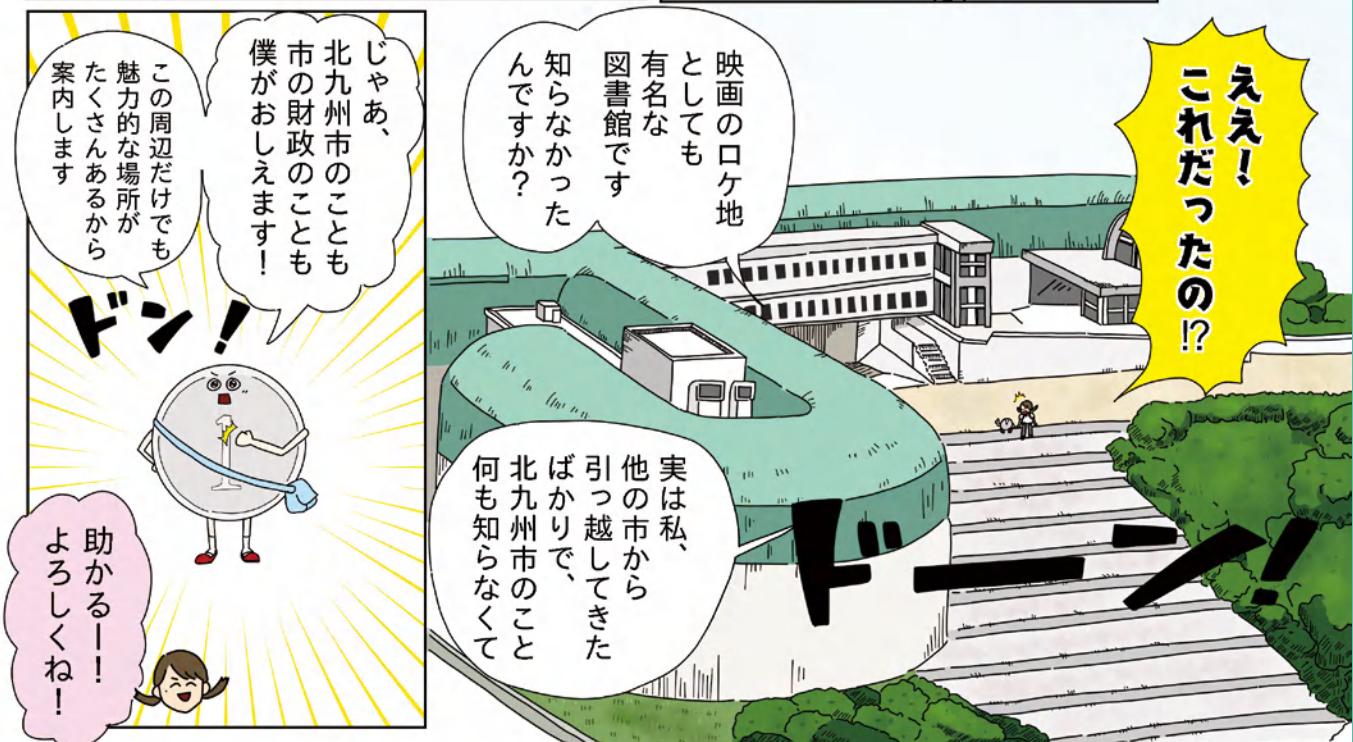
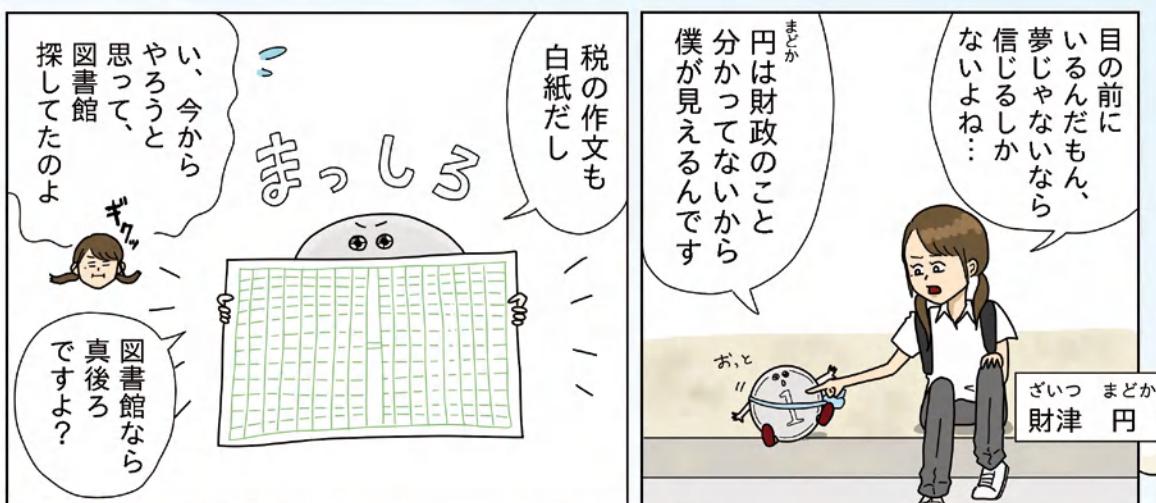
プロローグ

こんにちは!
さい吉と申します

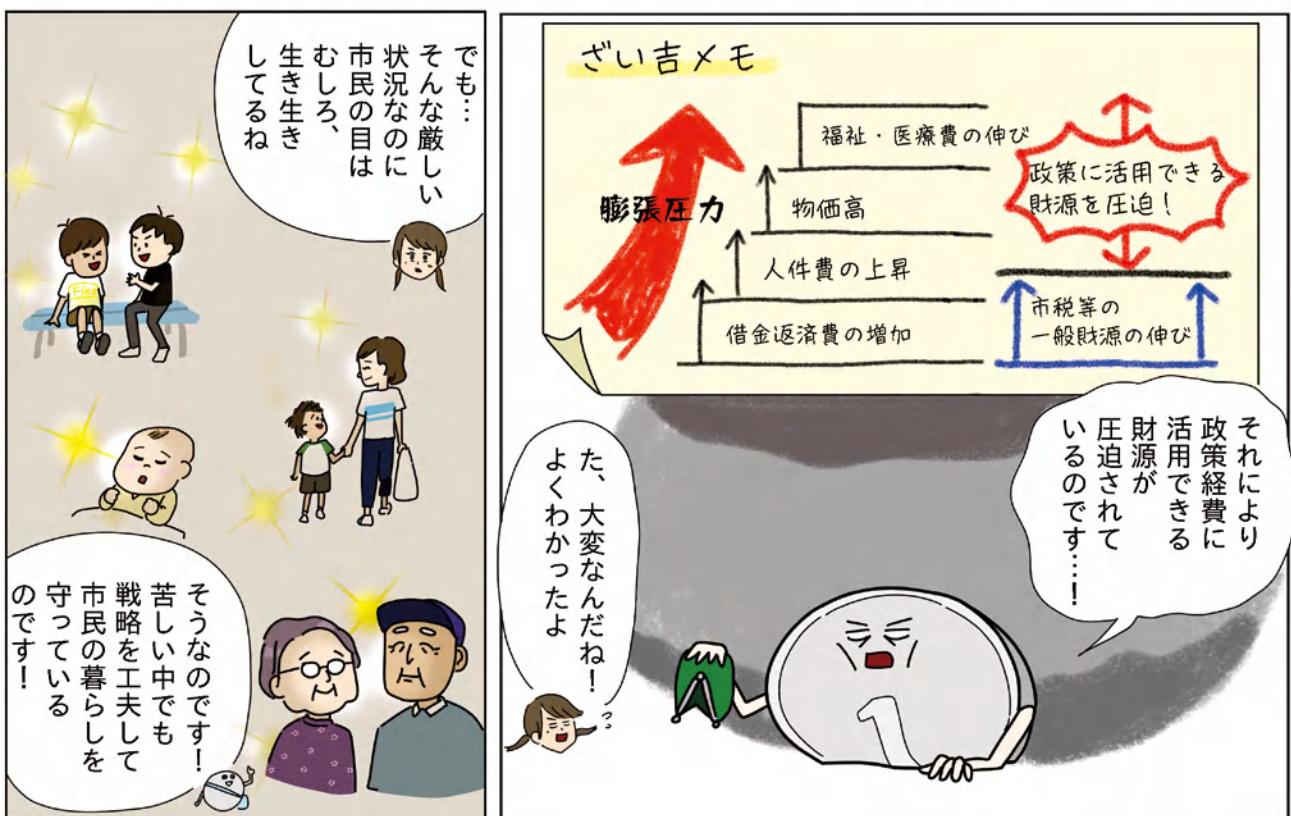
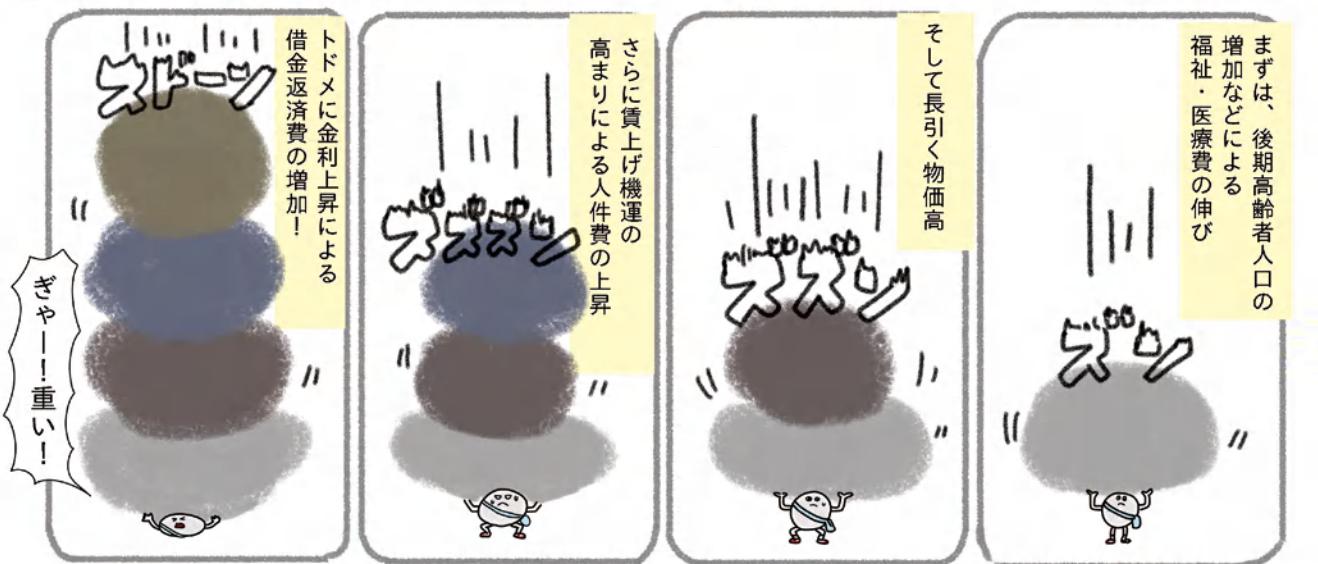


市の現状 ①

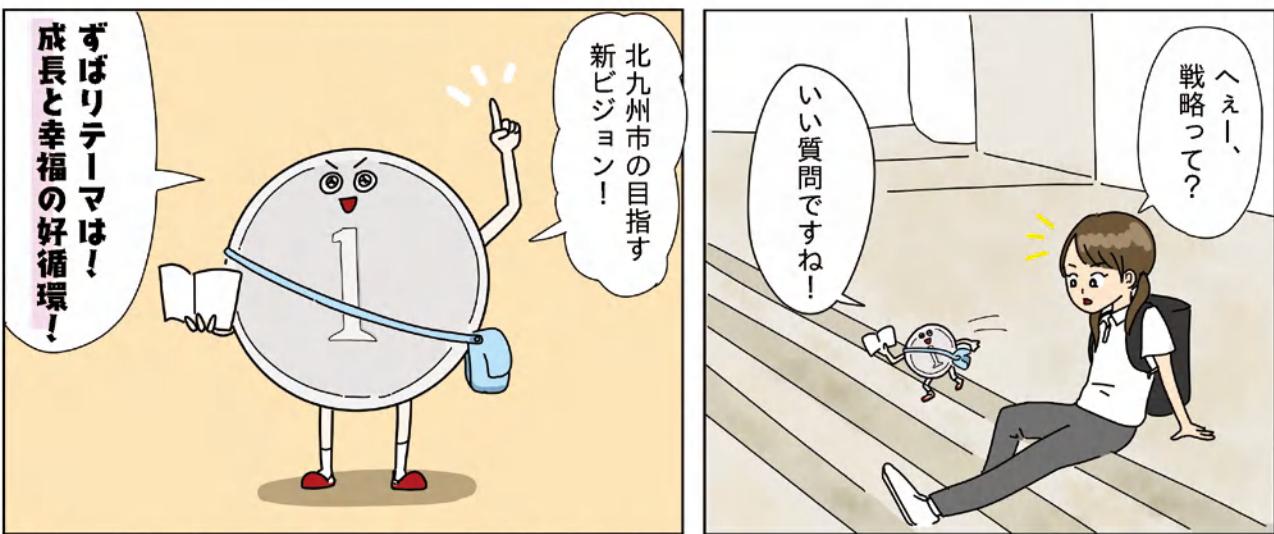
妖精か……



市の現状 ②



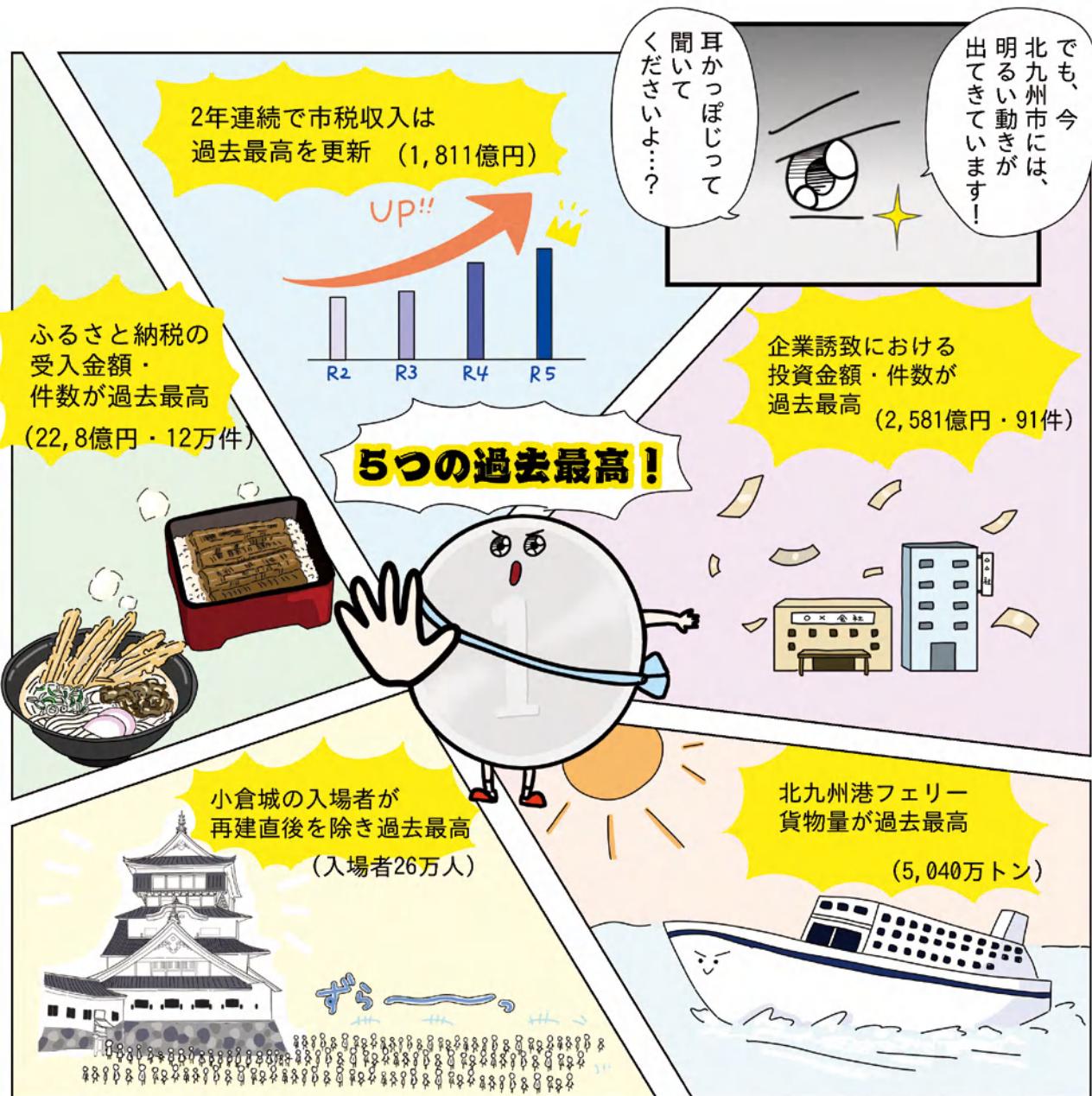
成長に向けての取組み ① ビジョン



つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現する、
グローバル挑戦都市・北九州市

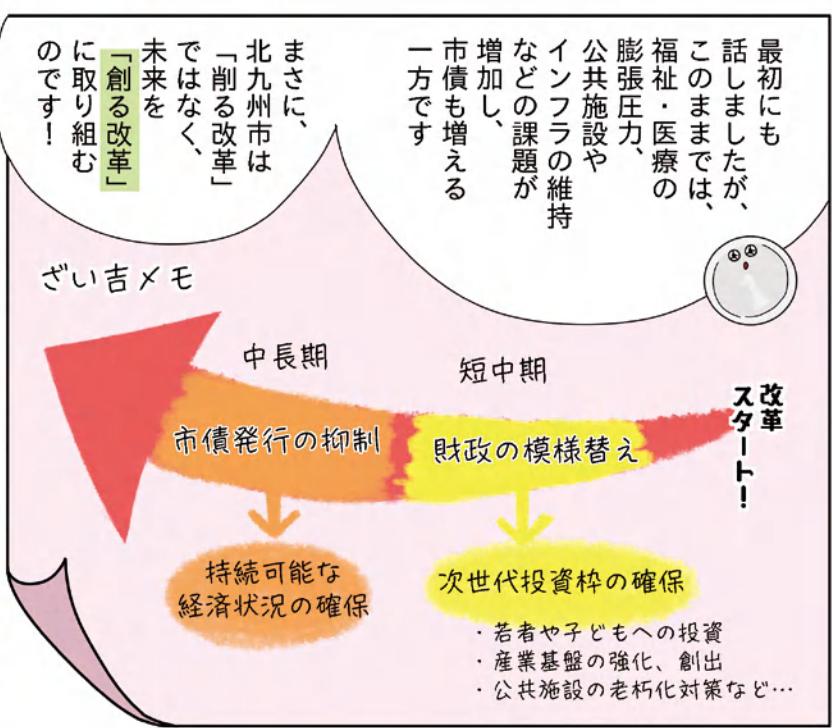
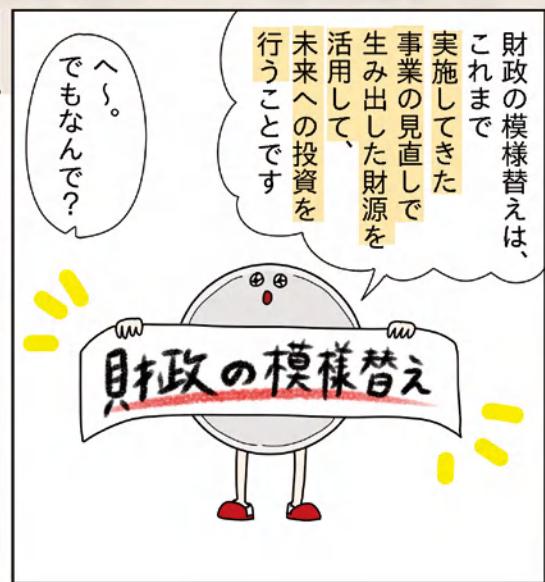


● 成長に向けての取組み ② 令和5年度の成果 ●



成長に向けての取組み ③ 市政変革

紫川



成長に向けての取組み ④ 財政の健全化



※漫画上の演出です。むやみに川に入ってはいけません。危険です

未来のために、今、ととのえよう。



市政変革とは

市政変革の目的

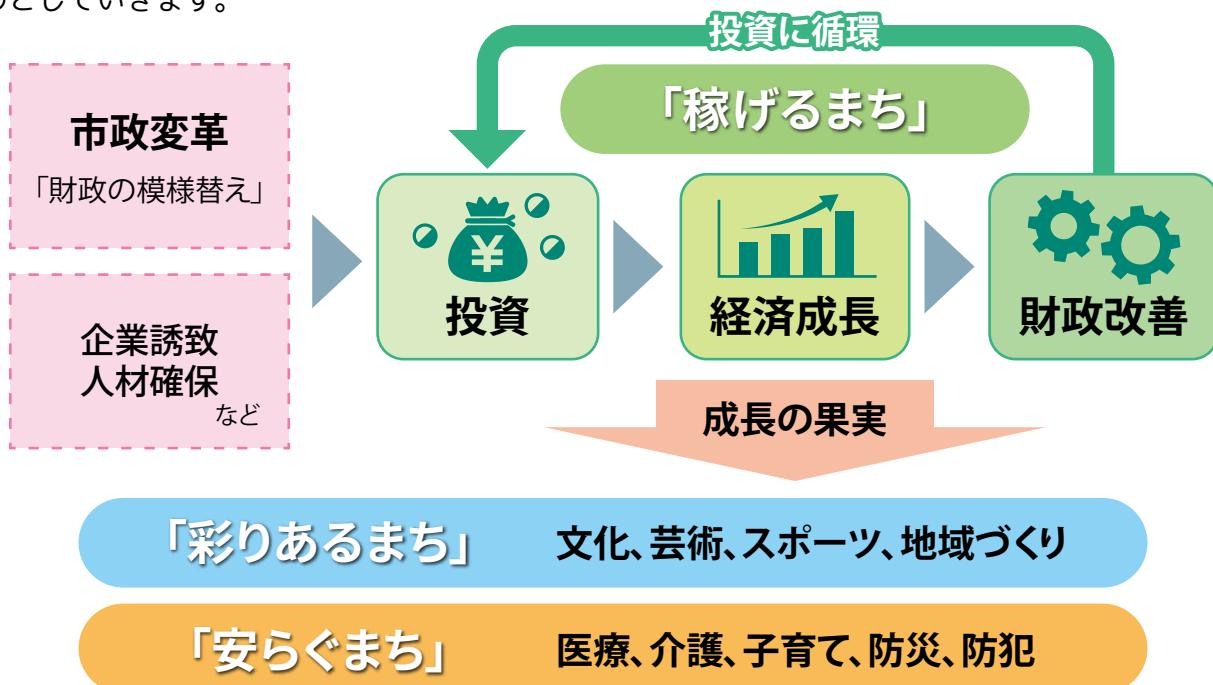
社会経済情勢が変化する中においても、北九州市が都市としての魅力を高め続け、多くの人や企業を惹きつけていく都市として、「一歩先の価値観」を体現できる都市であり続けられるよう、市民全体の叡智を集結して、行財政運営を再構築していきます。

未来を「創る改革」

市政変革の取組みは、もっぱら「削る改革」ではなく、未来を「**創る改革**」です。

「変革」とは、行財政運営のカタチを変えることで、将来に向けて都市の総合力を高めることを目指すものです。

そのために、これまで続けられてきた資源配分のあり方を見直し、新たな時代の要請に応えるものとしていきます。



令和5年度取組み

北九州市政変革推進プランの策定

次世代への投資等を行いつつ、行財政運営のあり方を再構築する「市政変革」の取組みを進めるにあたり、市政変革の基本原則、見直しの視点、目標値、具体的な取組項目等を定めた計画を策定しました。

予算事務事業の棚卸し

各局等において、全ての予算事務事業（約3,000事業（令和5年度））を総点検し、市民ニーズや社会経済情勢の変化等の6つの視点を踏まえた見直しを実施しました。

令和6年度からの取組み

各局区による改革案磨き上げの場

X会議

変革の本質に迫る テーマ設定



改革案の磨き上げに繋がる
報告・議論テーマを設定

各局区が主役の議論



各局区の主体的な
改革案の報告・討議

見える化の徹底

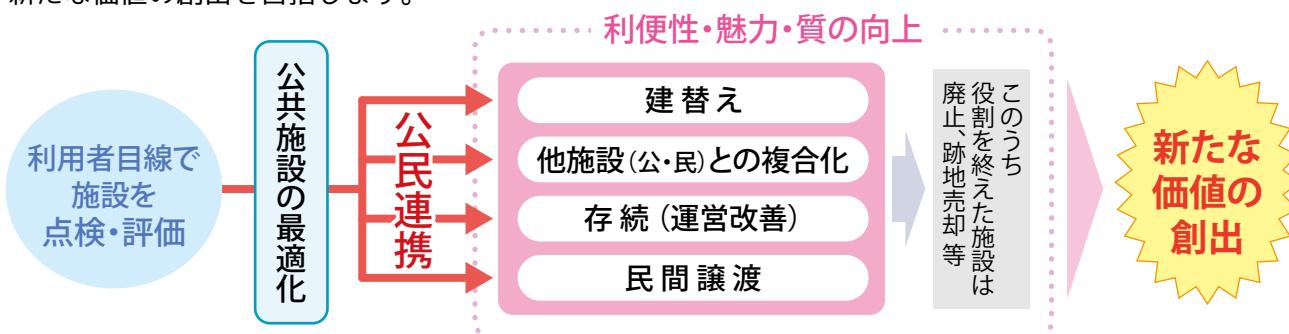


公開会議の開催、
資料・会議議事録の公表

【主な検討項目】

・公共施設マネジメント

各施設において「利用者目線」で点検・評価を実施し、公共施設の最適化に向けて検討を行います。
最適化にあたっては、民間のノウハウを活用しながら施設の建替えや複合化、運営改善等を行い、
新たな価値の創出を目指します。



・利用者目線での公共施設改善プロジェクト

公共施設における利用者目線での点検・改善の取組みとして、区役所及び文化施設での施設点検及び利用者ヒアリングと改善に向けた取組みを実施します。

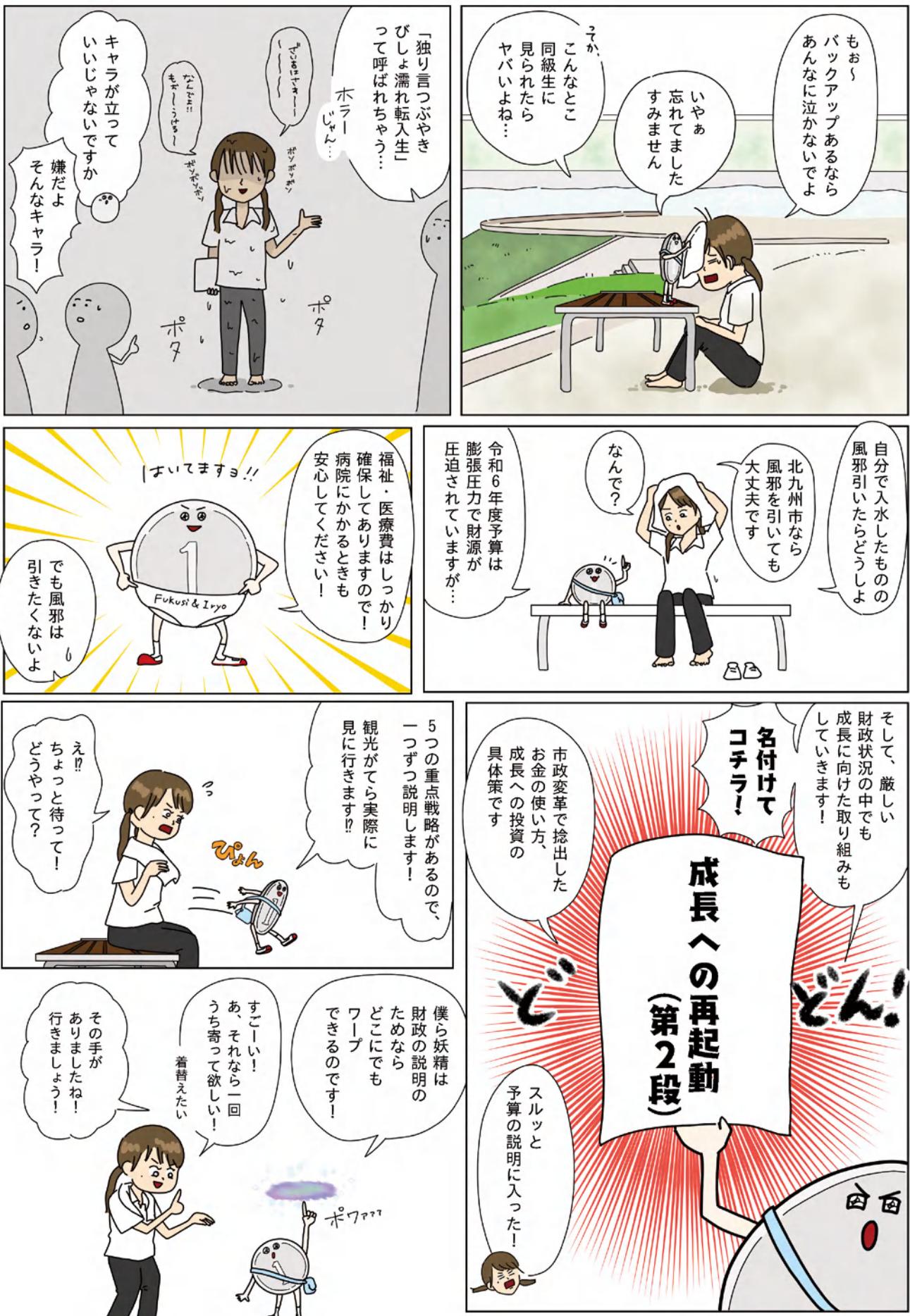


・持続可能な公民連携体制

外郭団体を「管理団体」から、市の政策の一翼を担う「公民連携の重要なパートナー」として再定義し、各団体の持つポテンシャルを生かしながら、より良い市民サービスの提供を目指します。



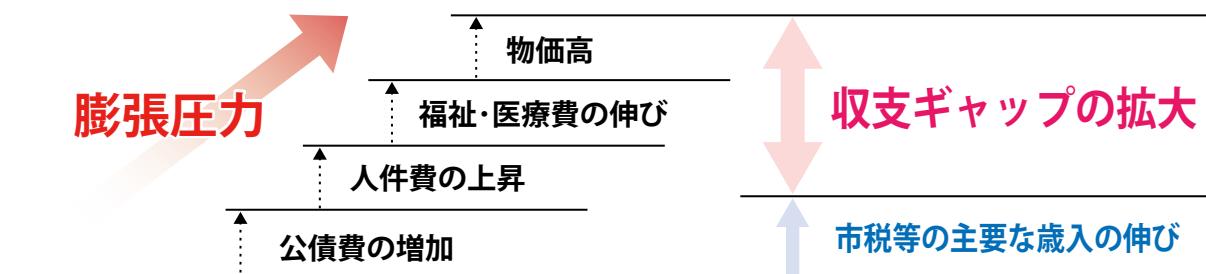
令和6年度予算



令和6年度予算編成の背景

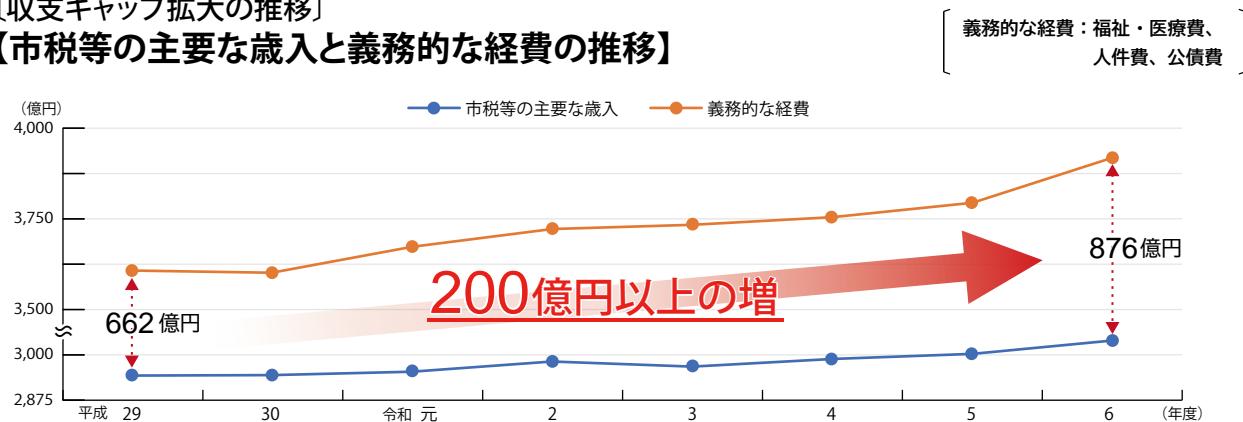
令和6年度予算の編成にあたっては、物価高や福祉・医療費、人件費、公債費の上昇などの予算に対する膨張圧力により、市民サービスに必要な固定的経費が大きく増加しました。その一方で、市税や地方交付税等の主要な歳入の伸びが十分でないことなどにより、収支ギャップが拡大し、近年でも厳しい予算編成となりました。

【令和6年度予算編成における膨張圧力】



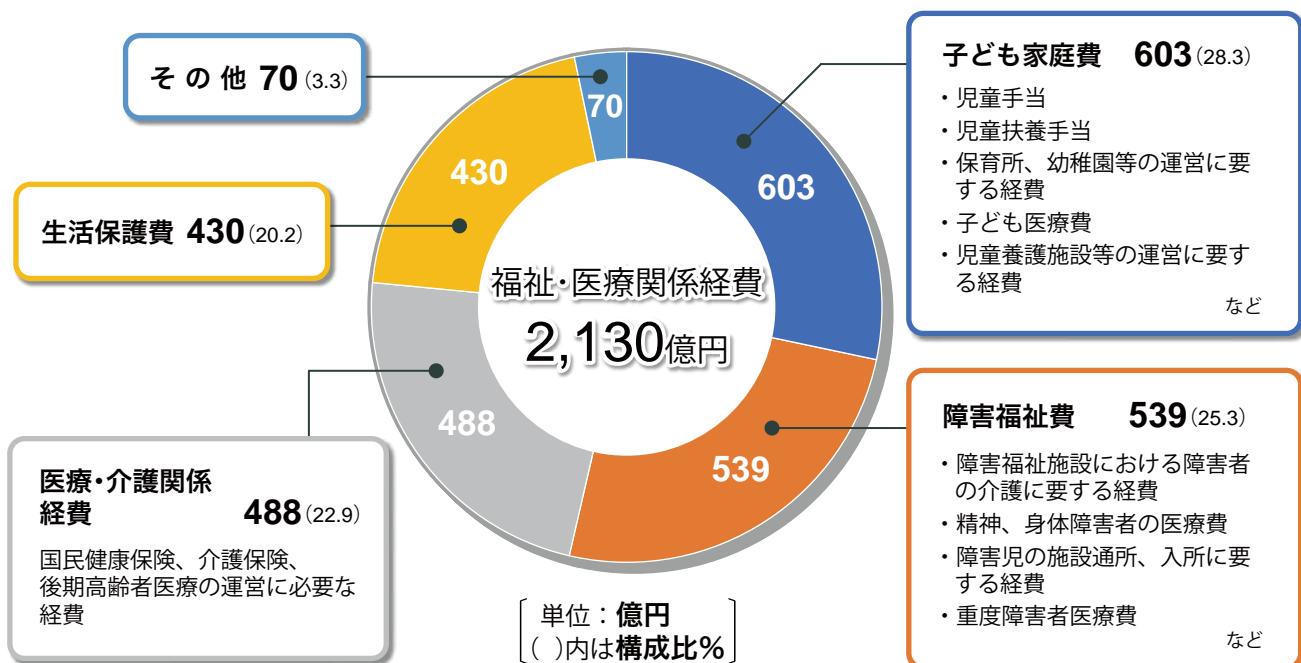
【収支ギャップ拡大の推移】

【市税等の主要な歳入と義務的な経費の推移】



令和6年度当初予算 福祉・医療費の内訳

特に伸びが大きいのが、福祉・医療費であり、児童福祉、障害者福祉にかかる費用や医療に係る経費など、市民生活にとって必要不可欠なサービスを提供しています。



空港アクセス強化事業

1億2,000万円

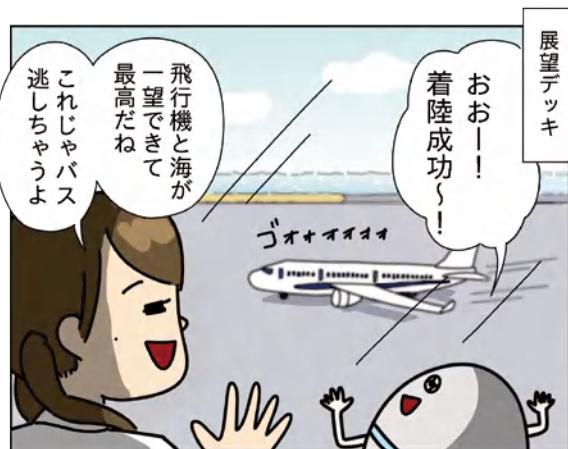
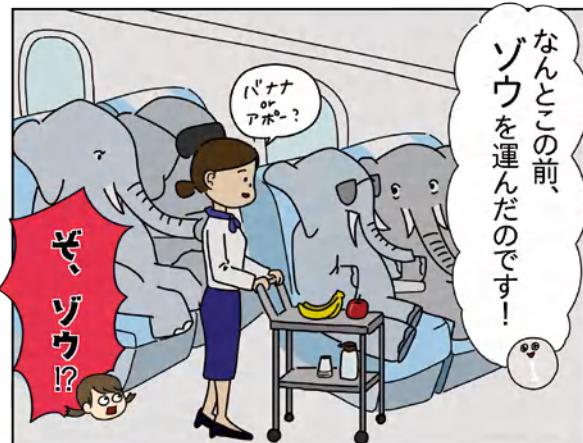
バス、鉄道などの多様な交通手段を生かした空港アクセス強化を目的として、エアポートバスの増便(小倉・朽網)や鉄道との乗継強化、バス待合環境向上などの取組を実施します。



次世代航空物流構築事業

6,500万円

2024年問題や脱炭素社会など、次世代物流の構築を目的として、国内貨物定期便の集貨支援や半導体貨物への重点的な集貨支援の取組を実施します。



次世代空港機能強化検討事業

1,500万円

滑走路延長を機に、長距離運航便の就航に向け、空港の機能強化を目的として、航空燃料タンクの増設などの必要な施設整備に関する調査を実施します。



重点戦略

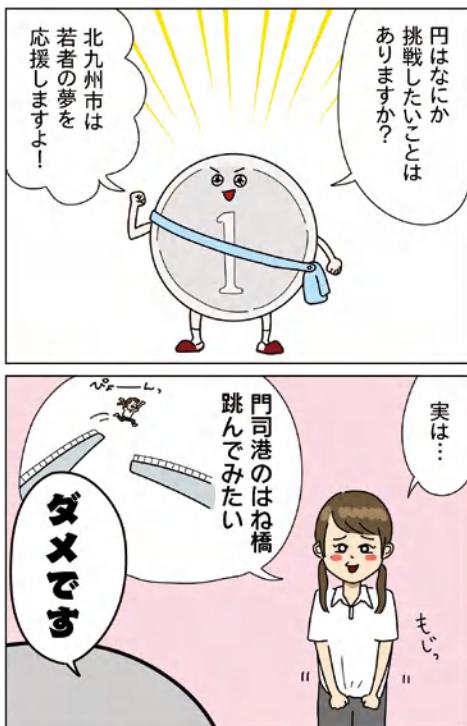
2.若者・子どもを応援する

(1) 若者を応援する

シン・ジダイ創造事業 (若者のチャレンジ応援)

5,000万円

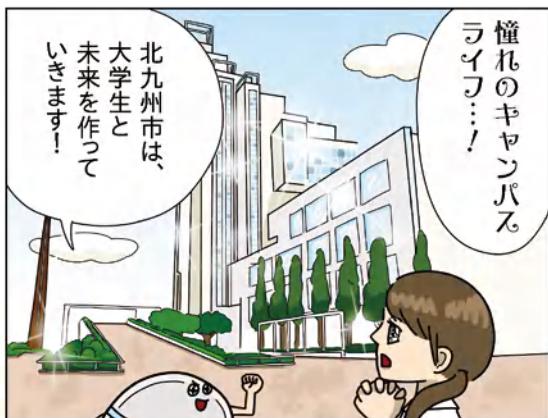
「日本一若者を応援するまち・北九州市」に向け、街の活性化やポテンシャルの開花を体現する若者の発想と創意工夫、チャレンジに基づくプロジェクトの遂行を街ぐるみで支援します。



北九州市立大学への支援

23億9,900万円

北九州市の地方創生や国際化、デジタル化に資する大学の実現に向けて、優秀な人材の輩出など、地域の知的基盤の向上等に向けた支援を行うほか、大学施設の老朽化対策等を実施します。



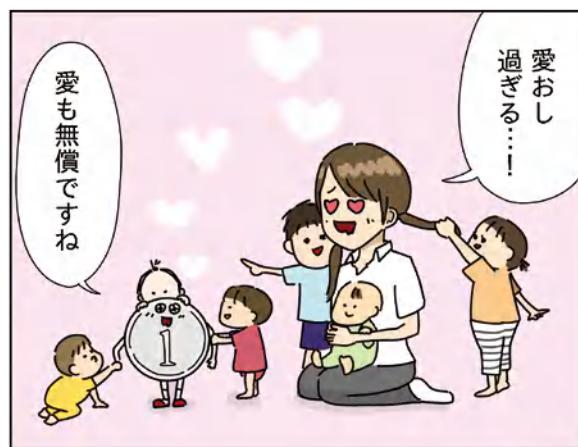
(2) 子どもと子育てを応援する

第2子以降の保育料無償化

8億3,200万円

多子世帯の子育てを支援するため、第2子以降の保育料の無償化を実施します。

※市が直接徴収している保育料収入の減（5億5100万円）と合わせ、13億8300万円を支援



学校給食魅力向上事業

2億3,000万円

令和6年度から令和7年度にかけて「スチームコンベクションオーブン」を未設置校（54校）に設置し、「焼く」「蒸す」等の多彩な献立を提供できる環境を整備することにより、学校給食の魅力向上を促進します。



重点戦略

3.企業の付加価値向上を支援する

生産性向上、事業変革に向けたロボット・DX推進事業

2億4,900万円

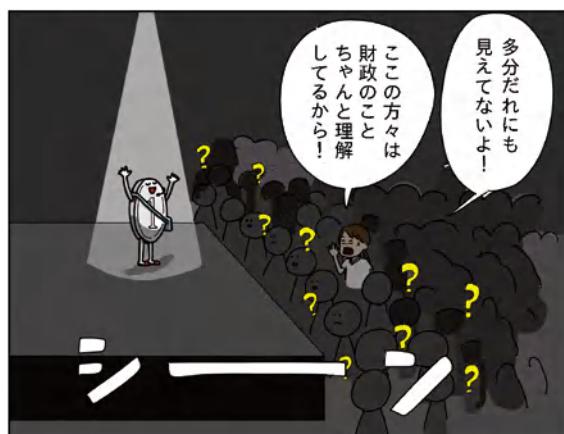
市内中小企業の付加価値向上に向けて、ロボット・DX推進センターを中心に、事業変革・新ビジネス創出に向けた支援を強化し、地域をけん引するモデル企業を創出するとともに、それに続くような企業のすそ野を拡大します。



バックアップ首都推進事業

2,300万円

東京での企業誘致イベントの開催や企業の経営層へのアプローチの強化により、本社機能やマザー工場の誘致、IT企業の開発拠点の集積を進め、バックアップ首都を推進します。



「稼げるまち」への原動力 ～未来産業推進事業～

1億3,100万円

「稼げるまち」の実現に向け、北九州学術研究都市を中心、半導体や宇宙、次世代自動車などの未来産業について、研究開発や人材育成、企業競争力の向上などに取り組み、先端企業の集積や地域産業の高度化、新ビジネスの創出を推進します。



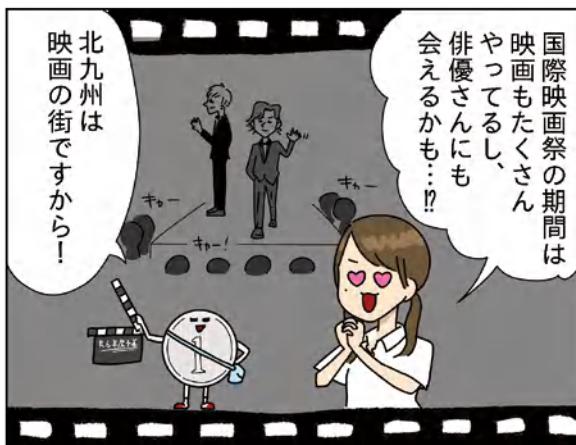
重点戦略

4. 街にぎわいと楽しさを生む

エンターテインメントによる にぎわいづくり推進事業

5,000万円

国内のみならずアジアを中心として、グローバルに「日本一若者を応援する街・北九州」を発信するため、エンターテインメントの力を活用したプロモーションや北九州国際映画祭を開します。



紫川ナイトスペクタクル事業

2,000万円

インバウンド等の来街者によるナイトタイムエコノミーの創出と、新たな出会い・交流の場の提供により、市民の暮らしの質の向上を図るために、紫川周辺の高質な空間等のポテンシャルを活かし、光・音のショー等のナイトコンテンツを提供します。



NEWツーリズム創生事業

4,000万円

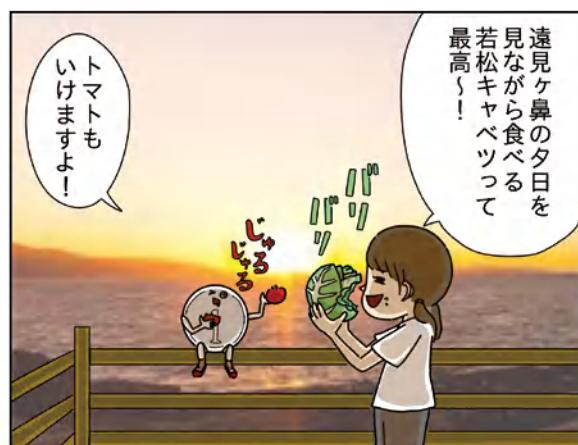
地域の歴史や文化を体感できる「祭り」や、市外からの来訪者が大半を占める「コンサート」を新たな観光コンテンツとして磨き上げ、国内外からの観光客の誘致を促進します。



若松北海岸の自然を活かした 体験型・滞在型観光の促進

300万円

夕日の名所で知られる「遠見ヶ鼻」に代表される自然景観、新鮮な農水産物の産地としての魅力など、観光地としてポテンシャルを有する若松北海岸について、地域事業者等の発意による自然を活かした体験型・滞在型観光を促進します。



重点戦略

5.街の老朽化等へ対応する

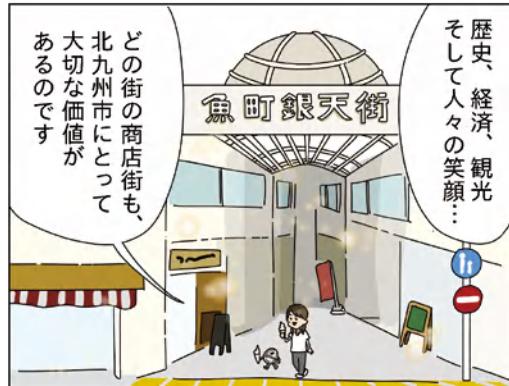
商店街等の火災防止と安心して買い物できる まちづくりの支援事業

5,700万円

商店街等における火災及び自然災害からの 再開支援事業

4,800万円

令和6年1月に小倉北区魚町において発生した大規模火災について、「北九州市商店街の空き店舗の活用に関する補助金」により被災事業者の店舗移転及び営業再開の支援を実施します。



簡易型自動消火装置設置補助事業

900万円

木造商店街密集地域等にある木造飲食店の防火対策として、「簡易型自動消火装置」の設置について補助を実施します。



市有建築物の老朽化対策

91億3,900万円

学校、市営住宅をはじめとした市有建築物における安全・安心を確保するため、外壁や屋上防水等の老朽化対策を実施します。



若戸大橋・若戸トンネルの強靭化

9億1,100万円

若戸大橋・若戸トンネルにおける、日常的な維持管理や早急に補修が必要な箇所の修繕等を行うとともに、若戸大橋について、法定定期点検及び劣化が進んでいる取付橋や舗装の補修、橋梁の塗替え等を実施します。

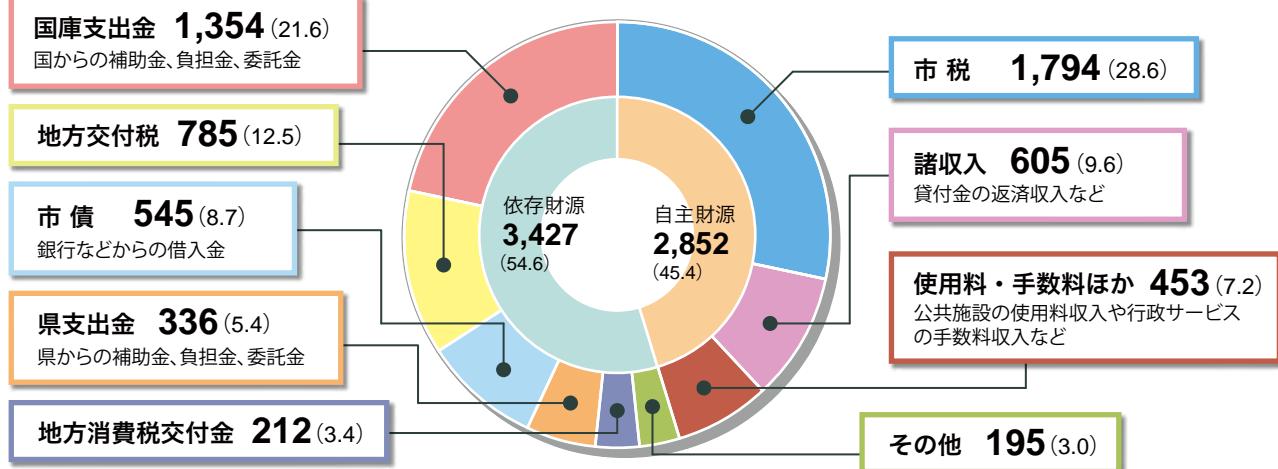


令和6年度当初予算(一般会計)の内訳

■歳入予算の内訳

歳入総額 6,279億円

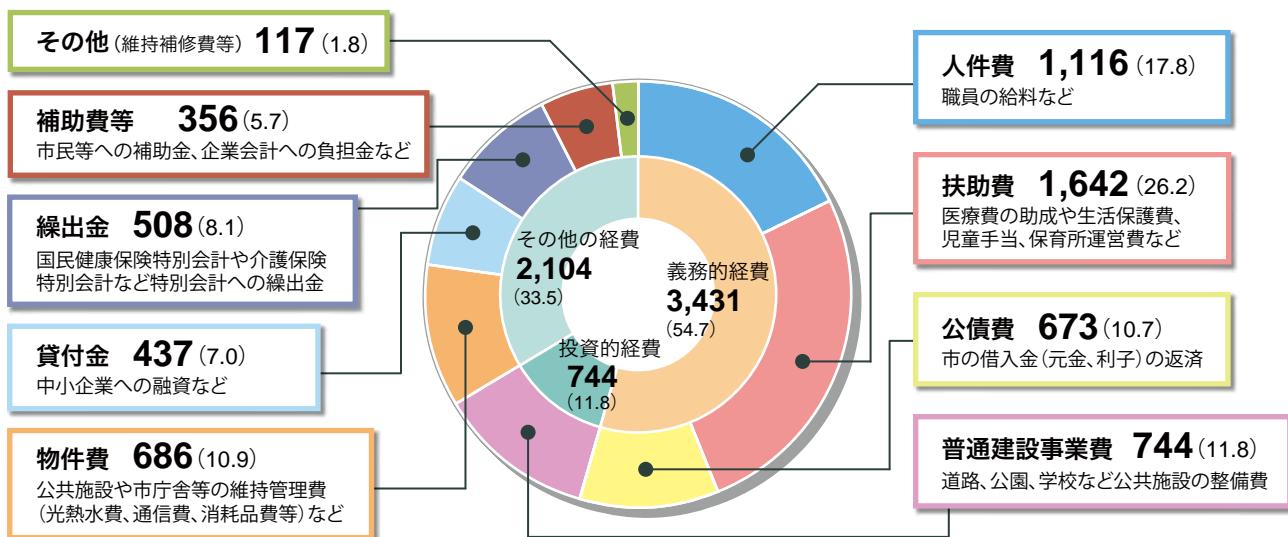
[単位: 億円
()内は構成比%]



■歳出予算の内訳

歳出総額 6,279億円

【性質別】人件費、扶助費などの「性質」に従って分類すると次のようにになります。



【歳出1人当たりの内訳】…約68万円

*人口は92万1044人(令和5年12月31日現在の住民基本台帳人口)で計算。

○ 福祉・健康・医療の充実

1,840億円 (29.3%)

1人当たり 20万円



○ 子育て支援

765億円 (12.2%)

1人当たり 8万3千円



○ 学校教育

753億円 (12.0%)

1人当たり 8万2千円



○ 産業・観光振興など

553億円 (8.8%)

1人当たり 6万円



○ 道路・河川・公園などの整備

325億円 (5.2%)

1人当たり 3万5千円



○ ごみ処理、低炭素社会づくり

396億円 (6.3%)

1人当たり 4万3千円



○ 行政運営、市民活動支援、文化振興など

513億円 (8.2%)

1人当たり 5万6千円



○ 消防・救急活動、住宅の整備、岸壁の整備など

364億円 (5.7%)

1人当たり 3万9千円



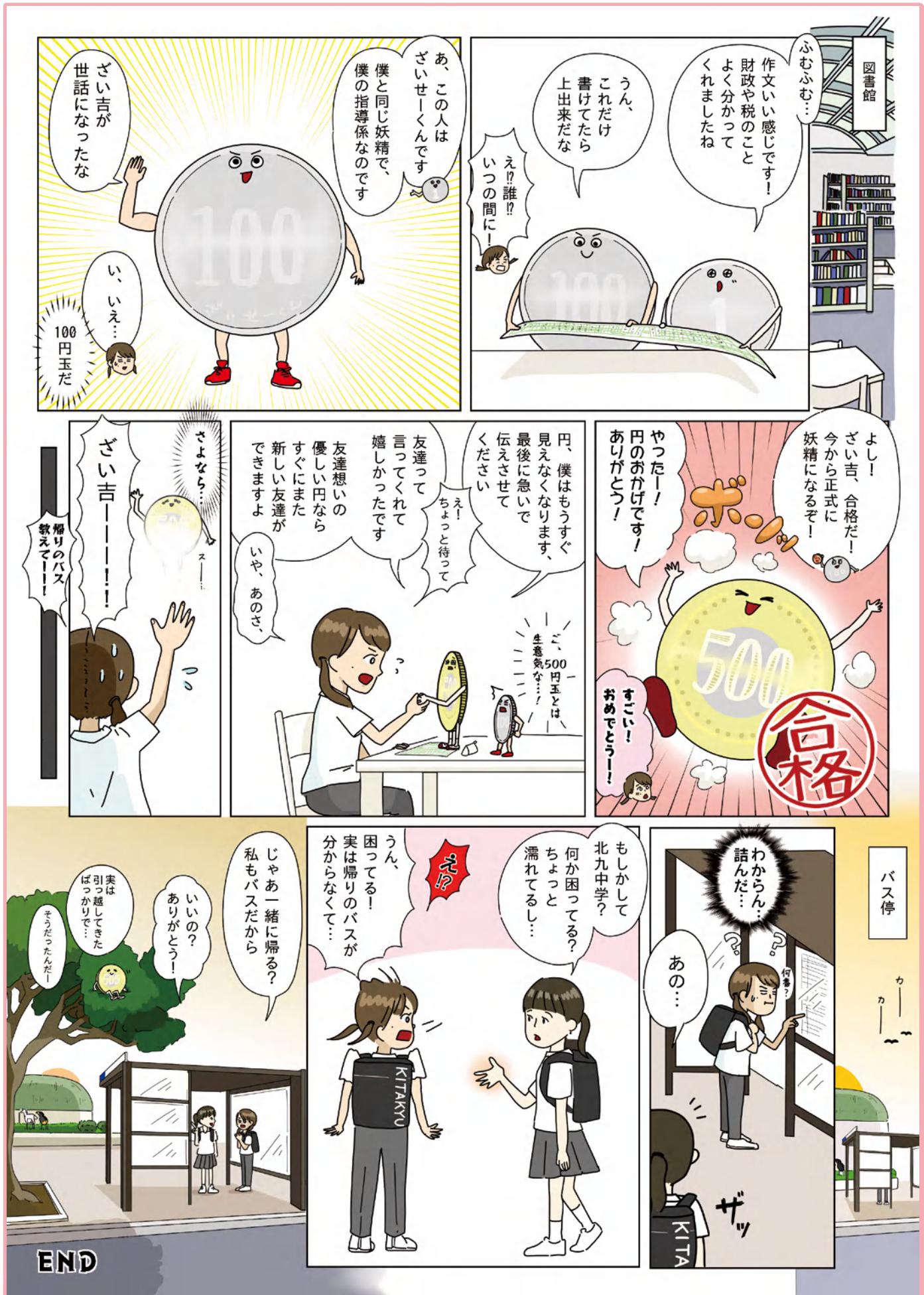
○ 借入金の返済など

770億円 (12.3%)

1人当たり 8万4千円



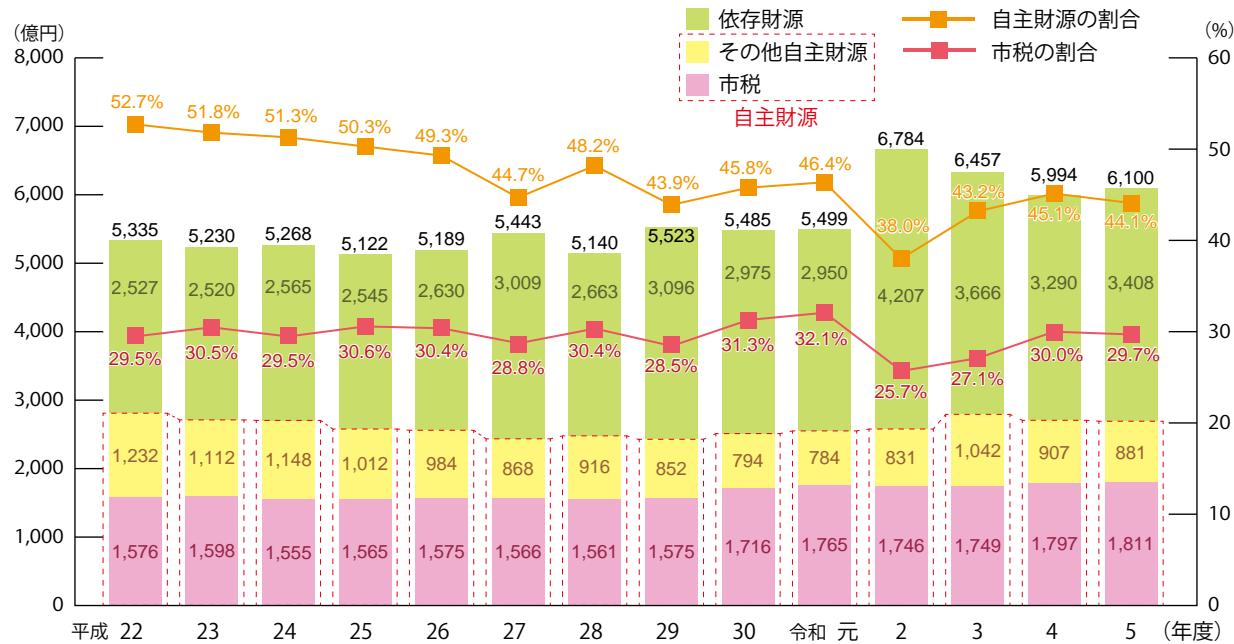
エピローグ



参考資料

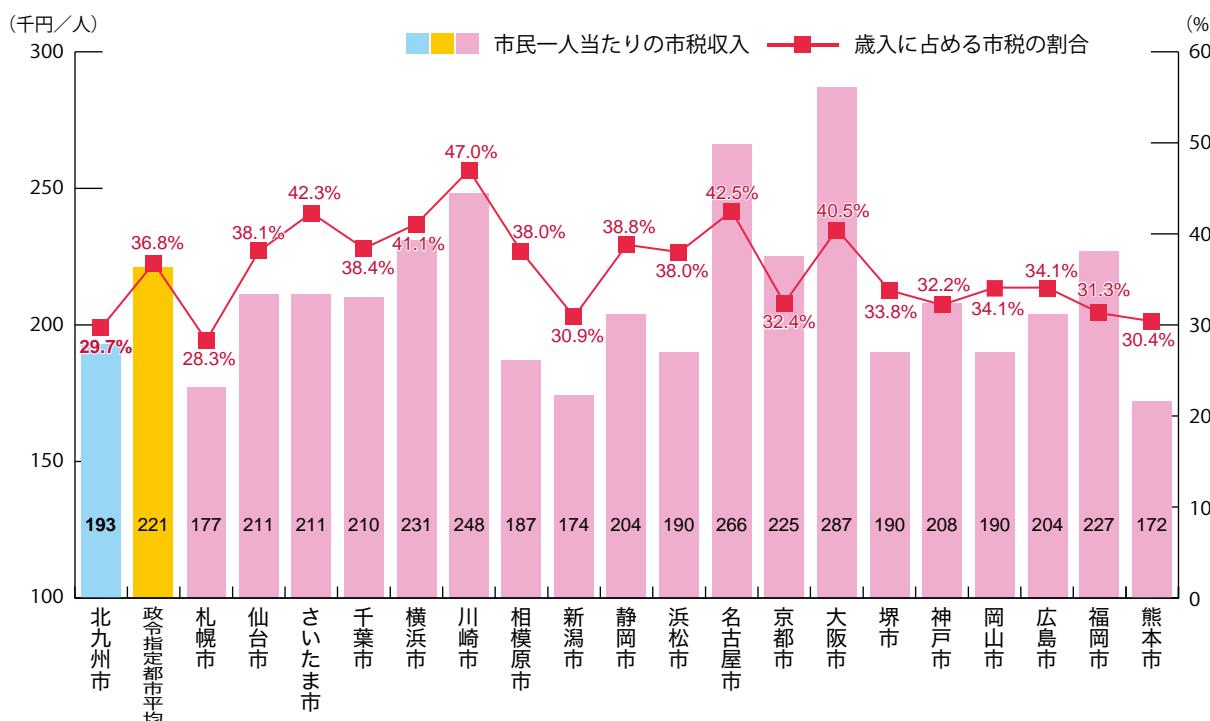
一般会計歳入決算額の推移

歳入に占める**自主財源**の割合は**40~50%**程度、**市税**の割合は**30%程度**で推移しています。



市民一人当たりの市税収入と歳入に占める割合 (普通会計／令和4年度決算)

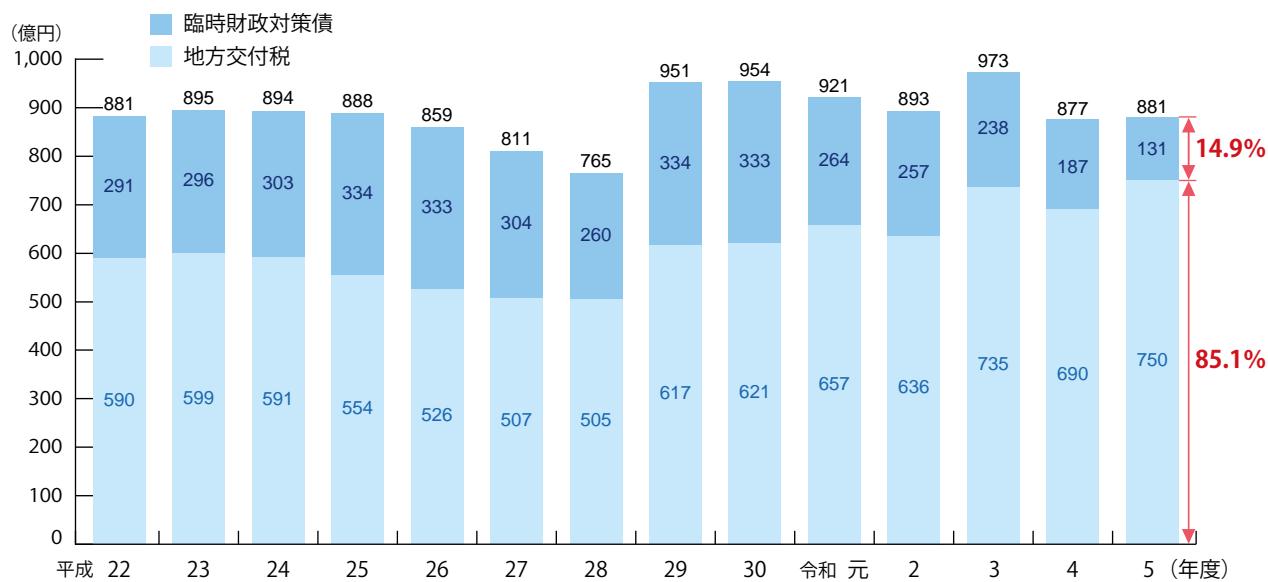
市民一人当たりの市税収入は**19万3千円**で、20政令指定都市中多い方から**13番目**、歳入に占める割合は**29.7%**で、20政令指定都市中高い方から**19番目**です。



※人口は、令和5年1月1日現在の住民基本台帳人口を使用しています。

地方交付税等決算額の推移

地方交付税等（地方交付税と臨時財政対策債の合計）は、平成24年度以降減少傾向にあります。しかし、平成29年度以降は、小学校等教職員に係る給与負担が県から移譲されたことに伴う影響等により増加しています。

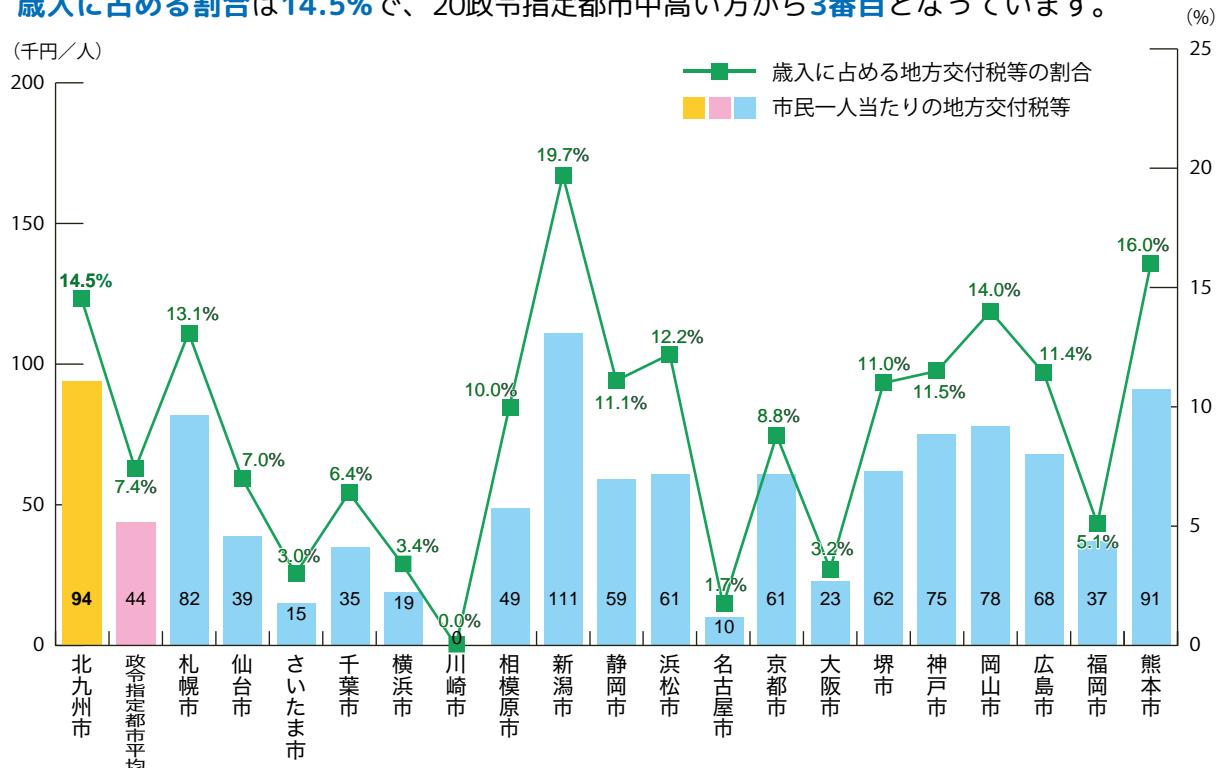


財政ひとくちメモ

【臨時財政対策債】国の地方交付税の財源不足対策として、本来地方交付税で交付されるものの一部を地方債（臨時財政対策債）として各地方公共団体が借り入れます。その償還（返済）については、後年度、その全額が地方交付税で措置されます。

市民一人当たりの地方交付税等と歳入に占める割合 (普通会計／令和4年度決算)

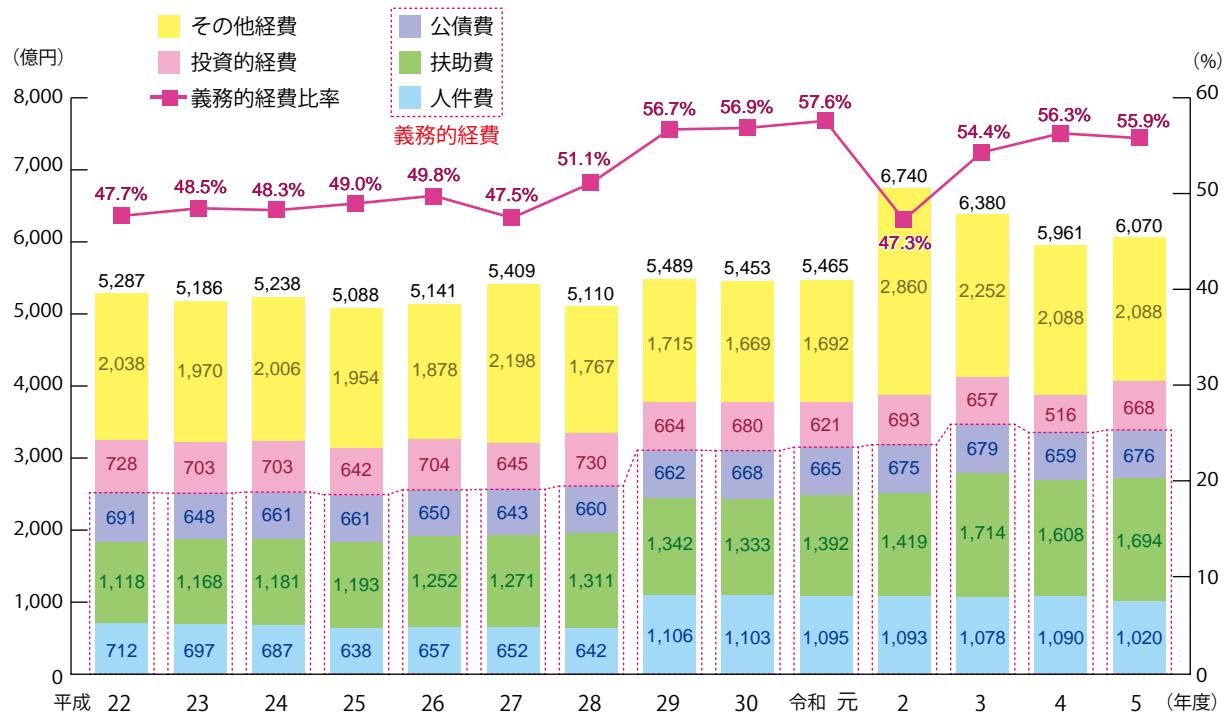
市民一人当たりの地方交付税等は9万4千円で、20政令指定都市中多い方から2番目、歳入に占める割合は14.5%で、20政令指定都市中高い方から3番目となっています。



※人口は、令和5年1月1日現在の住民基本台帳人口を使用しています。

一般会計歳出決算額(性質別)の推移

義務的経費は、令和2年度以降、新型コロナ関係給付金等の影響による増減はあるものの、依然増加基調にあります。



※令和2年度の義務的経費比率の減は、新型コロナ対策の実施に伴う義務的経費以外の歳出の増などによるものです。

財政ひとくちメモ

【扶助費】 福祉の法令等に基づいて実施する生活保護や障害福祉サービスの提供のほか、各種手当の支給、医療費の助成などに要する経費です。

【公債費】 市が発行した市債(借金)の毎年度の返済(元金、利子)に要する経費です。

参考資料

福祉・医療関係経費決算額の推移

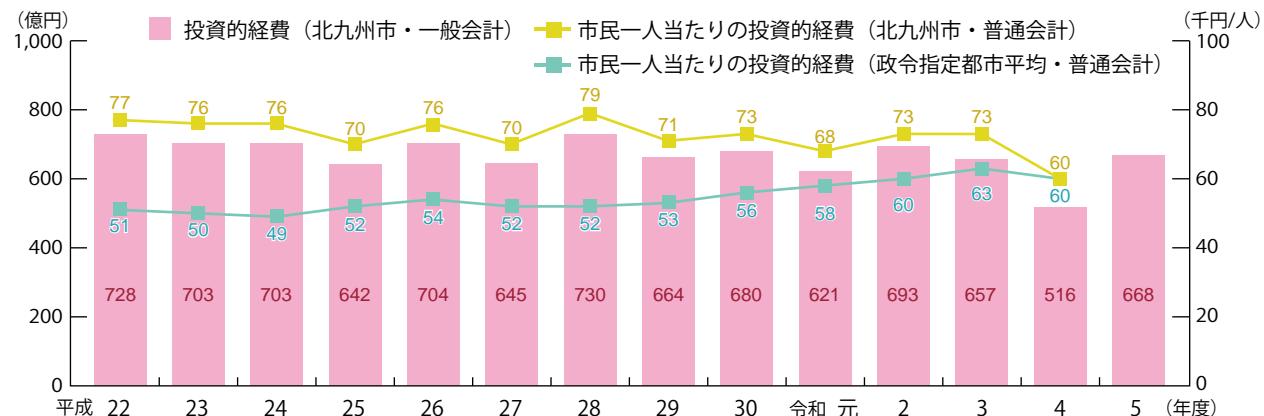
扶助費や国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の特別会計への繰出金などの**福祉・医療関係経費**は**増加傾向**にあります。



※令和3年度の大幅な増加は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金や、18歳以下の子どもへの給付金の支給等によるものです。
※令和4年度の大幅な減少は、18歳以下の子どもへの給付金の支給等が減少したことによるものです。

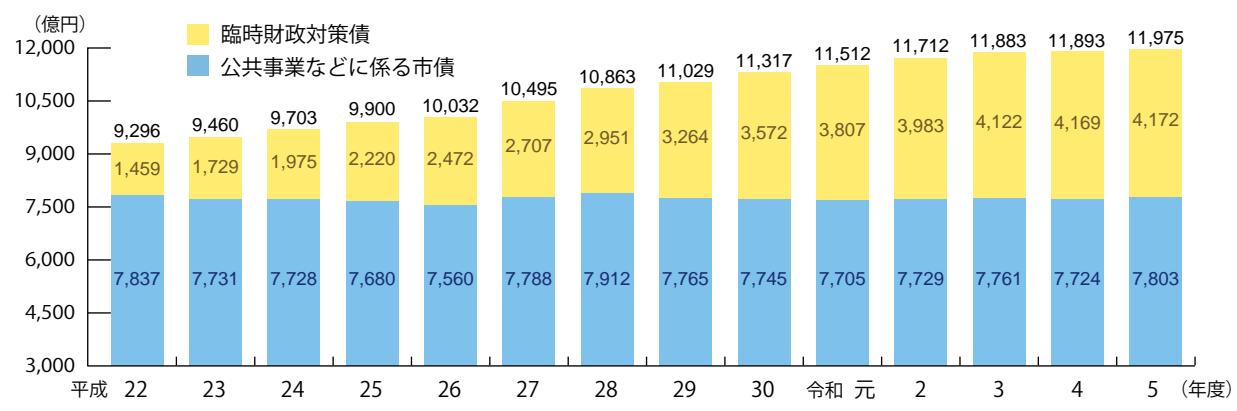
投資的経費決算額(一般会計)と市民一人当たりの投資的経費(普通会計)の推移

投資的経費は近年**700億円程度**で推移していましたが、将来世代への負担軽減を図るため、令和4年度から適正水準を設け、**620億円/年(環境工場等を除く)**とする取組を始めています。



市債残高の推移(一般会計)

地方交付税の振替である臨時財政対策債の増加等により、市債残高は増加しています。臨時財政対策債を除いた公共事業などに係る**市債残高は7,800億円程度**で高止まりしています。

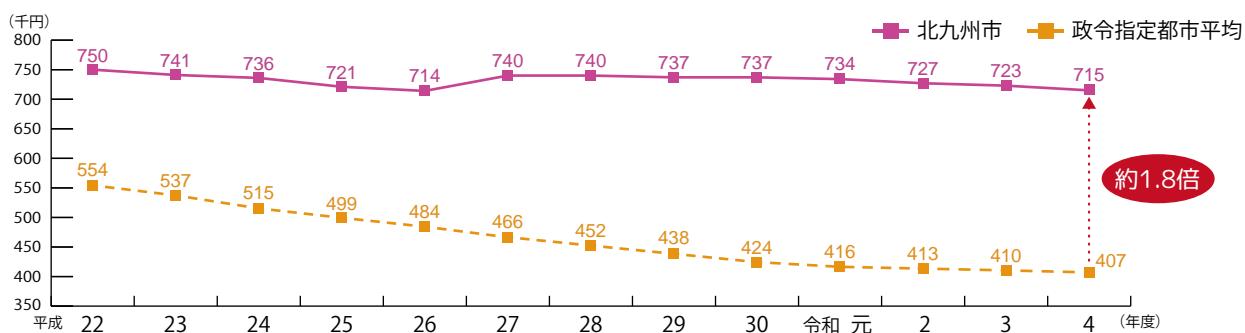


財政ひとくちメモ

【なぜ市債を発行するの?】長期間にわたって使用する公共施設をつくる場合の財源は、国や県からの補助金等のほかに、市債(市の借金)を発行してまかない、資金の平準化を図っています。その理由は、つくる費用を便宜を受ける将来世代にも公平に負担してもらうという「世代間の公平」にあります。

市民一人当たりの市債(市の借金)残高の推移(普通会計/臨時財政対策債を除く)

市民一人当たりの市債残高は、他の政令指定都市は大幅に減少していますが、本市はあまり減少していません。令和4年度は、**71万5千円**で**政令指定都市の中でも最も高く**、政令指定都市平均の**約1.8倍**となっています。



財政ひとくちメモ

【普通会計】

一般会計と特別会計(公営企業会計等を除く)を合算し、会計間の重複額等を控除したものです。地方公共団体間の比較や時系列比較が可能となるように、地方財政統計上、統一的に用いられる会計区分です。

中期財政見通し(一般会計)【令和6年2月改訂】

今後の市政運営の参考とするため、令和6年度当初予算を基礎として、一定の条件の下で当面5年間の試算を行ったものです。

今後の財政運営にあたっては、自主財源の確保や行政コストの縮減を図りつつ、税収の増加につながる政策に積極的に取り組むことが必要であると考えています。

(単位:億円)

| 項目 | 令和6年度 当初予算 | 令和7年度 見込み | 令和8年度 見込み | 令和9年度 見込み | 令和10年度 見込み |
|-----------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 歳入合計① | 6,152 | 5,829 | 5,891 | 5,895 | 5,945 |
| 一般財源等 | 3,046 | 3,063 | 3,089 | 3,108 | 3,132 |
| 市 税 | 1,794 | 1,865 | 1,883 | 1,885 | 1,892 |
| 地方交付税等 (臨時財政対策債を含む) | 845 | 818 | 804 | 839 | 858 |
| そ の 他 (県税交付金等) | 407 | 380 | 402 | 384 | 382 |
| 国県支出金 | 1,690 | 1,546 | 1,559 | 1,565 | 1,576 |
| 市 債 (臨時財政対策債を除く) | 485 | 360 | 359 | 359 | 360 |
| そ の 他 | 931 | 860 | 884 | 863 | 877 |
| 歳出合計② | 6,279 | 6,028 | 6,068 | 6,062 | 6,087 |
| 人件費 | 1,116 | 1,061 | 1,089 | 1,049 | 1,066 |
| 扶助費 | 1,642 | 1,631 | 1,645 | 1,660 | 1,675 |
| 公債費 | 673 | 687 | 703 | 705 | 711 |
| うち臨時財政対策債を除く | 469 | 475 | 483 | 486 | 494 |
| 投資的経費 | 744 | 620 | 620 | 620 | 620 |
| 維持補修費 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 |
| 繰出金 | 508 | 509 | 510 | 511 | 512 |
| そ の 他 | 1,513 | 1,436 | 1,416 | 1,431 | 1,416 |
| 収支差③(① - ②) | △127 | △199 | △177 | △167 | △142 |
| 決算における歳入増 ・歳出不 ^用 等④ | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |
| 市政変革の取組み による改善効果⑤ | — | 50 | 50 | 50 | 50 |
| 年度末基金残高⑥ (前年度末残高 + ③ + ④ + ⑤) | 301 | 252 | 225 | 208 | 216 |

【参考】

| | | | | | |
|-------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 福祉・医療関係経費 (扶助費+福祉・医療関係特別会計への繰出金) | 2,130 | 2,120 | 2,135 | 2,151 | 2,167 |
|-------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|

令和5年度特別会計・企業会計決算

特別会計決算

特別会計の実質収支は、20会計中16会計が黒字、4会計が歳入歳出差引きゼロとなっています。

(単位:百万円)

| 会計名 | 歳入総額 (A) | 歳出総額 (B) | 歳入歳出差引額 (形式収支) (C)=(A)-(B) | 翌年度へ 繰越すべき財源 (D) | 実質収支 (E)=(C)-(D) |
|-------------------|-------------|-------------|----------------------------------|------------------------|---------------------|
| 国民健康保険 | 99,900 | 98,865 | 1,035 | 0 | 1,035 |
| 食肉センター | 359 | 347 | 12 | 0 | 12 |
| 卸売市場 | 1,492 | 1,356 | 136 | 1 | 135 |
| 渡船 | 578 | 436 | 142 | 0 | 142 |
| 土地区画整理 | 3,559 | 3,215 | 344 | 163 | 181 |
| 土地区画整理事業清算 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 港湾整備 | 8,097 | 3,676 | 4,421 | 61 | 4,360 |
| 公債償還 | 169,762 | 169,762 | 0 | 0 | 0 |
| 住宅新築資金等貸付 | 274 | 0 | 274 | 0 | 274 |
| 土地取得 | 2,518 | 2,517 | 1 | 1 | 0 |
| 駐車場 | 795 | 244 | 551 | 4 | 547 |
| 母子父子寡婦福祉資金 | 206 | 119 | 87 | 0 | 87 |
| 産業用地整備 | 751 | 15 | 736 | 0 | 736 |
| 漁業集落排水 | 41 | 32 | 9 | 0 | 9 |
| 介護保険 | 109,852 | 105,818 | 4,034 | 0 | 4,034 |
| 空港関連用地整備 | 24 | 1 | 23 | 0 | 23 |
| 臨海部産業用地貸付 | 940 | 940 | 0 | 0 | 0 |
| 後期高齢者医療 | 17,497 | 16,974 | 523 | 0 | 523 |
| 市民太陽光発電所 | 283 | 86 | 197 | 0 | 197 |
| 市立病院機構 病院事業債管理 | 4,684 | 4,684 | 0 | 0 | 0 |

企業会計決算

企業会計の損益収支は、病院事業会計のみ赤字となっています。

(単位:百万円)

| 会計名 | 損益収支 | 単年度実質収支 | 令和5年度末資金剩余 |
|---------|--------|---------|------------|
| 上水道事業 | 611 | △368 | 4,334 |
| 工業用水道事業 | 482 | △83 | 1,817 |
| 交通事業 | 153 | 149 | 510 |
| 病院事業 | △145 | 0 | 50 |
| 下水道事業 | 665 | 219 | 3,635 |
| 公営競技事業 | 13,459 | 7,292 | 41,844 |

※病院事業会計は、門司病院の運営と旧若松病院等にかかる企業債の償還のみを実施しています。医療センター等の運営は平成31年4月1日に地方独立行政法人北九州市立病院機構へ移行しており、この会計には含まれません。

健全化判断比率等

下記の健全化判断比率（4つの指標）がそれぞれ一定の基準（「早期健全化基準」及び「財政再生基準」）を超えると、その程度に応じた財政健全化の対策が義務付けられます。北九州市はいずれの指標もこれらの基準を下回っています。

QRコードはこちら→



【本市の健全化判断比率及び資金不足比率（令和5年度決算）】

| 指 標 | | 内 容 | 北九州市の比率 | 早期健全化基準 (経営健全化基準) | 財政再生基準 |
|---------|-----------|---|------------------------|----------------------|--------|
| 健全化判断比率 | ①実質赤字比率 | 地方公共団体の財政規模に対する一般会計等の赤字の割合です。 | — | 11.25% | 20.0% |
| | ②連結実質赤字比率 | 地方公共団体の財政規模に対する全会計の赤字の割合です。 | — 実質黒字のため比率なし | 16.25% | 30.0% |
| | ③実質公債費比率 | 地方公共団体の財政規模に対する借入金の返済額の大きさの割合です。 (年収に占めるローン返済額のイメージ) | 10.1% | 25.0% | 35.0% |
| | ④将来負担比率 | 地方公共団体の財政規模に対する借入金など現在抱えている負債の大きさの割合です。 (年収に占めるローン残高のイメージ) | 143.2% | 400.0% | |
| ⑤資金不足比率 | | 公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する割合です。 | — 資金不足を生じていないため比率なし | (20.0%) | |

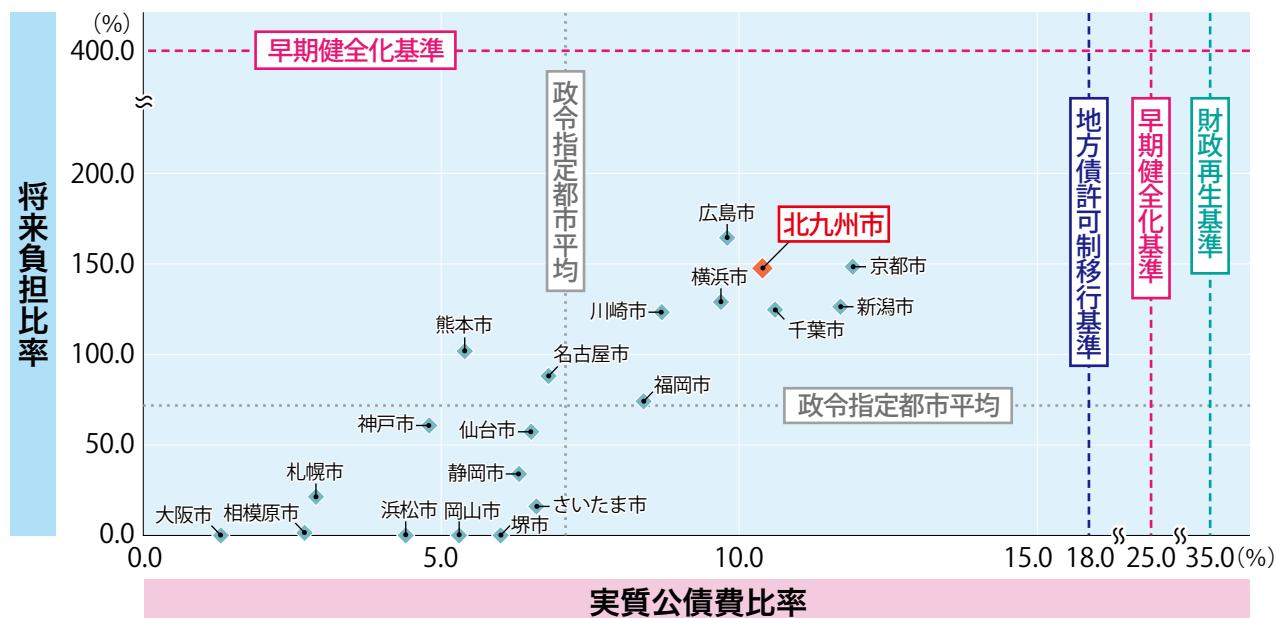
* 実質公債費比率は、「地方債許可制移行基準」(18.0%)を超えると、市債の発行に総務大臣の許可が必要となります。

【実質公債費比率と将来負担比率における政令指定都市の状況（令和4年度決算）】

健全化判断比率は改善傾向にあるものの、市債残高の高止まり等を反映し、実質公債費比率、将来負担比率いずれも政令指定都市平均より厳しい水準で推移しています。

実質公債費比率は、20政令指定都市中、健全性が高い方から**17番目**

将来負担比率は、20政令指定都市中、健全性が高い方から**18番目**となっています。



財務書類(一般会計等)【令和4年度決算】

財務書類とは、これまでの決算情報では見えなかった資産や負債の情報、現金支出を伴わない減価償却費などの見えにくいコスト情報を企業会計的手法により作成した書類です。

平成28年度決算からは、総務省が示した「統一的な基準」に基づいて財務書類を作成・公表しています。

財務書類は4つの表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）で構成されており、下記のとおり相互に関係しています。

詳細は、市のホームページをご覧ください。

QRコードはこちら→



※億円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

いくつかの財政指標を分析します。

① 資産形成度に着目した分析

市民一人当たり資産額 **291万円**

【算定式】= 資産合計 ÷ 住民基本台帳人口

市民一人当たりの資産額は、政令指定都市の中では2番目に大きな額となっており、他の政令指定都市より多くの資産を保有していることがわかります。これは、本市が昭和38年の五市合併の影響等で、多くの公共施設を保有していることを表しています。



② 持続可能性（健全性）に着目した分析

市民一人当たり負債額 **141万円**

【算定式】= 負債合計 ÷ 住民基本台帳人口

この指標を類似団体と比較することで、財政の持続可能性を評価することができます。

本市は、市民一人当たりの負債額も政令指定都市の中で最も大きく、他の政令指定都市に比べ、多額の負債を持っていることがわかります。



上記の、市民一人当たり資産額と合わせて分析すると、本市は、多額の負債により、多くの公共施設を保有していると考えられます。今後は、これらの公共施設の老朽化に対し、いかに負債を増やさず対応していくかが重要です。

③ 公共施設等の老朽度に着目した分析

有形固定資産減価償却率 **71.6%**

【算定式】= 有形固定資産の減価償却累計額 ÷ 資産取得額

この指標は、建物や工作物等の固定資産が耐用年数に対し、どのくらい期間が経過しているのかを表します。

この数値が高いほど老朽化が進んでおり、大規模改修や建て替え等が必要になる可能性が高くなります。

本市は、有形固定資産減価償却率が年々増加傾向にあり（令和3年度：70.5%）、政令指定都市の中で2番目に高い値となっています。今後は、限られた財源の中で、施設の老朽化対策を講じていく必要があります。

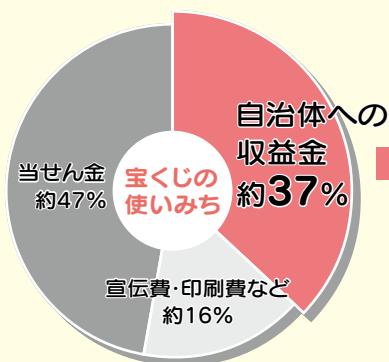


ご存知ですか？

これも北九州市のまちづくりに役立っています

北九州市内で販売された宝くじ

北九州市内で販売された宝くじの一定割合が北九州市の収入となり、高齢社会・少子化対策事業や、環境保全、芸術・文化振興など様々な事業の財源となっています。



北九州市の収入となり、
まちづくりの財源となっています。

令和6年度 宝くじ販売スケジュール

| 名称 | 販売期間 |
|------------|-------------------|
| 年末ジャンボ | 11/20(水)～12/21(土) |
| 初夢宝くじ | 12/22(日)～1/14(火) |
| 新春運だめしきじ | 1/8(水)～2/6(木) |
| バレンタインジャンボ | 2/7(金)～3/10(月) |
| 春一番くじ | 3/11(火)～3/31(月) |

※上記のほか、数字選択式宝くじ（ロト6・ロト7・ミニロト・ナンバーズ3・ナンバーズ4・bingo5）やインターネット専用くじは、毎日発売しています。また、通常くじとスクラッチは上記期間以外でも販売しています。

宝くじは、ぜひ北九州市内でお買い求めください。

競輪事業・モーター艇競走事業の収益金

公営競技事業（競輪事業・モーター艇競走事業）の収益金は、子育て環境や教育の充実、文化・スポーツの振興などにつながる事業の財源となっています。



北九州市
小倉けりいん



BOAT RACE
若松

収益金の一部



子育て環境や教育の充実、
文化・スポーツの振興などの財源
となっています。



平成30年12月には、
若戸大橋・トンネル
の無料化実現のため
の財源として、
ボートレース若松の
収益金約25億円が活
用されました。



昭和38年以来、小倉競輪・
ボートレース若松の収益金
約1,800億円が北九州市の
まちづくりの財源として役立て
られています。

Kitakyushu **Action!**

動かせ、未来。北九州市

発行・編集

北九州市財政・変革局財務部財政課

〒803-8501

北九州市小倉北区城内1-1

TEL : 093-582-2002

FAX : 093-582-2070

公式ホームページでもご覧頂けます。

QRコードはこちら▶



<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/zaisei/09000077.html>